

1. 基本情報

- (1) 国名：ブータン王国（以下、「ブータン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ティンプール県
- (3) 案件名：ギダコム国立感染症病院改築計画（The Project for Reconstruction of National Infectious Diseases Hospital in Gidakom）
- (4) 計画の要約：本計画は、ギダコム国立感染症病院を改築・拡張し、医療機材を整備することにより、重篤な感染症に対する診断・治療の質の改善と、感染拡大を適切に防止し、感染症対策の知見を有する人材育成拠点の構築を図り、もってブータンの感染症対策の強化に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

インドと中国の間に位置し、地政学的重要性を有するブータンは、国際場裡において我が国を支持する親日国であり、ブータンの医療分野の発展を促進し、同国の安定的発展に寄与する本計画は、強固な二国間関係の維持にとり重要である。また、本件はハイレベルでも要請がなされているほか、2016年のG7伊勢志摩サミットの首脳宣言等で薬剤耐性への対応に対する取組強化が掲げられており、国際社会への薬剤耐性に関する支援の実施は、日本のプレゼンス維持にも重要である。以上のことから本計画は高い外交的意義を有している。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

近年、世界各地においてエボラ出血熱、新型コロナウイルス感染症など新たな感染症が発生し、結核やマラリア等には薬剤耐性が出現している。国を越えた人や物の移動が活発になったことで感染症は国際的な課題となっており、疾病の国際伝播の防止を目的とし世界保健機関（WHO）が定める国際保健規則（International Health Regulations）においても各国で感染症への対策を向上させていくことが求められている。このような状況の下、ブータンにおいても、重篤な感染症が国内で発生もしくは海外より持ち込まれた際に適切な対応、処置が出来る設備を備えた医療機関整備に対するニーズが高まっている。ブータン政府は、かかる医療機関を整備することにより、国内外への感染拡大を適切に防止し、人口規模が小さい同国で壊滅的な被害が生じることを回避し、周辺国への被害拡大を食い止められる体制整備に高い政策優先度を置いている。ブータンの感染症対策においては、結核患者数は減少傾向にあるものの、国際的に増大が懸念されている薬剤耐性結核（Drug Resistant TB; DR-TB）患者や、HIV／結核重複感染者が増加傾向にあり、ブータン政府が策定した第12次5か年計画（2018年－2023年）の中でも課題として言及されている。2018年には全国で約180名いると推定されている薬剤耐性結核患者のうち、治療を受けた患者は約60名に留まっており、重篤な新興感染症への備えに加え、国内で課題となっている感染症に対応していくため、適切な感染症診断・治療環境の整備が緊急の課題となっている。

ギダコム病院は、首都ティンプールと国際空港のあるパロの中間付近に位置する国内

唯一の国立感染症病院であり、一般の結核患者に加え、薬剤耐性結核や HIV／結核重複感染者など治療が難しい感染症患者の入院受入と治療を行うとともに、地域病院として一般の医療サービス提供を行っている。しかしながら、同病院は建設から 50 年以上経過しており建物の老朽化が激しく、また感染症治療に十分なスペースや換気設備を有していない等、適切な治療や院内感染管理の体制が十分に整っていない状況にある。「ギダコム国立感染症病院改築計画」（以下、「本計画」という。）は重篤な感染症に対応する環境の整備並びに感染症治療の質改善を目的とし、ギダコム国立感染症病院を改築・拡張し、医療機材を整備するものであり、同国の保健・医療セクターにおける重要事業と位置付けられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：

【施設】病棟部、外来部、診療部、研修・研究部等

【機材】結核菌培養・薬剤感受性検査設備、遺伝子・血清検査設備、デジタル X 線装置等

イ) コンサルティングサービス/ソフトコンポーネントの内容：

詳細設計、入札補助、施工・調達監理、機材の運用・維持管理体制構築の為の技術指導等

② 期待される開発効果：対象病院における感染症診断・治療体制が向上（ベッド数：70 床、実験室レベル：BSL2）するとともに、対象病院を人材育成拠点として全国の医療関係者に対する感染症研修が推進されることにより、同国の感染症対応能力強化への貢献が期待される。

※BSL2（バイオセーフティレベル 2）：細菌・ウイルス・病原体等を取り扱う実験室・施設の格付けで、レベル 2 とは細菌等につき、基本的な封じ込めが可能な水準にあるもの。

③ 実施機関／実施体制：保健省（Ministry of Health）

④ 他機関との連携・役割分担：本計画では、国内で感染症を扱う医療従事者に対する研修施設を整備することで、全国の医療機関との連携が想定される。また、混雑が著しい国内最大の総合病院である Jigme Dorji Wangchuck National Referral Hospital の外来患者を一部吸収し、混雑緩和を図る。

⑤ 運営／維持管理体制：保健省、ギダコム国立感染症病院が運営・維持管理を担うことが想定されるが、協力準備調査により詳細確認する。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：WHO が保健省に対し、保健システム強化、非感染性疾患対策等重点 6 分野を定め能力強化を行っている。

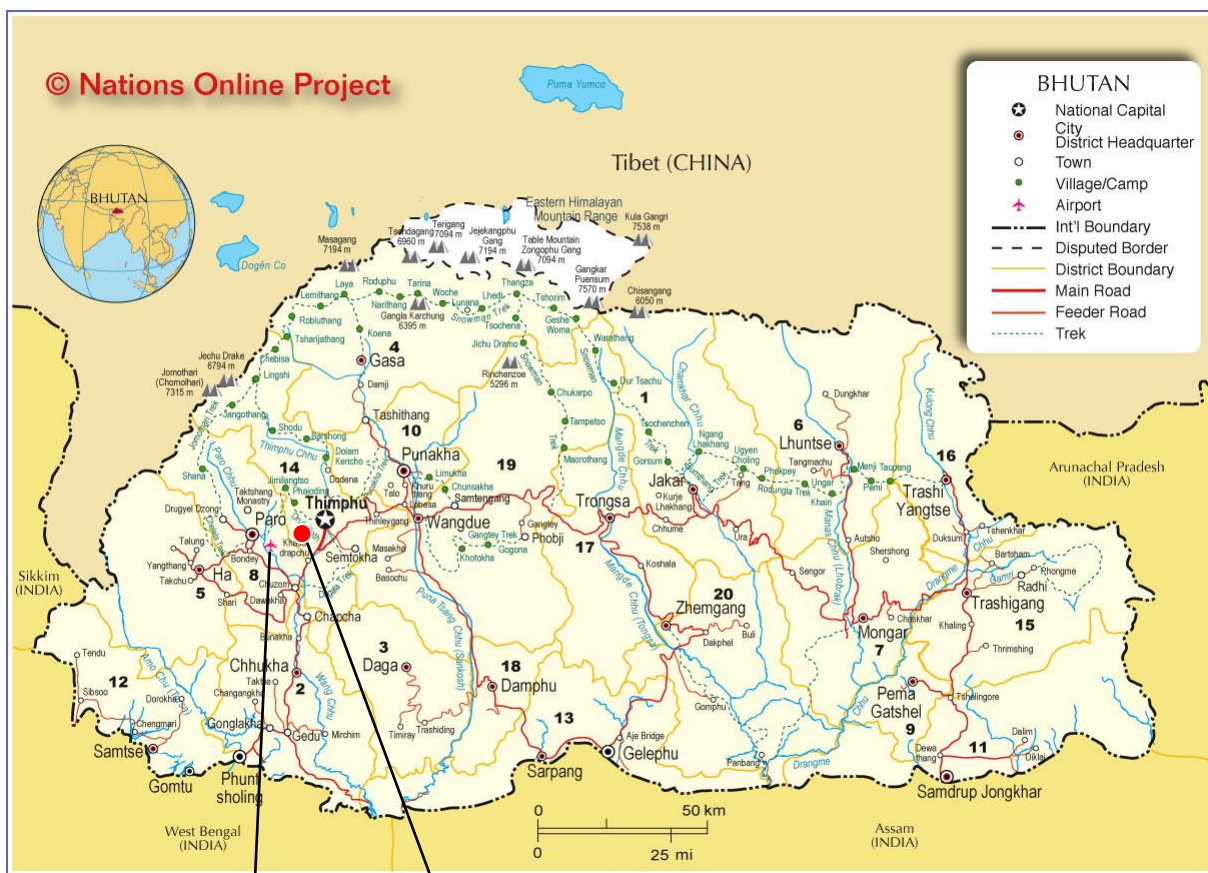
4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ミャンマー連邦共和国向け無償資金協力「病院医療機材整備計画」（評価年度：2017

年)の事後評価結果等において、高価な消耗品を要する機材が使われなくなる事態を避けるため、消耗品の価格や維持管理方法を十分考慮すべきとの教訓を得ている。本計画においては、維持管理が高額となる重篤な感染症を扱う設備について、既に国内の Royal Center for Disease Control (RCDC)で導入例があることを確認しており、RCDCからの知見共有や技術的なサポートによる維持管理能力の向上が期待される。先例の維持管理状況や教訓を確認しつつ、設置病院だけではなく予算権限を持つ政府部局に対し、消耗品交換や機材の不具合等に備える予算措置の可否について十分に確認し、十全の措置を行うことを確認する。

以 上

[別添資料] ギダコム国立感染症病院改築計画 地図



パロ国際空港

ギダコム病院

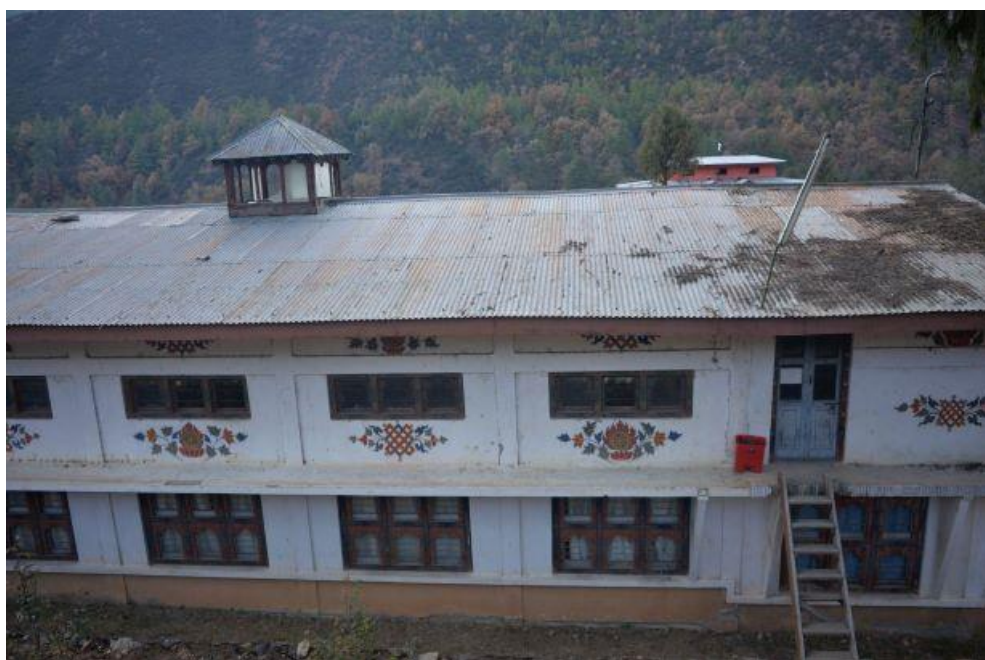
(出典: Nations On Line Project:

https://www.nationsonline.org/oneworld/map/bhutan_map.htm)

[別添資料] ギダコム国立感染症病院改築計画 写真



暖房設備のない薬剤耐性結核患者の病室。冬季は氷点下に達する日もある。



老朽化し、使用できなくなった病院施設。